

ナンバリング	B⑤02	科目名	こども家庭福祉		担当教員	金子重紀	
ディプロマポリシーとの関連性	①・③		担当形態	単独			
テキスト	「子どもと家庭の福祉を学ぶ」ななみ書房			単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> こども家庭福祉の現代的意義とその歴史について理解し、説明できる。 こどもの人権擁護について説明できる。 こども家庭福祉に関する法令や制度、実施体系等について理解し、説明できる。 こども家庭福祉の現状や動向、今後の課題や展望について説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>こども家庭福祉の意義とその課題について、今日の子どもの生活や多様な生活スタイルを持つ家庭の実情から、具体的な事例を通して学ぶ。また、こども家庭福祉の法律や制度、こどもの人権擁護等について歴史的な変遷から捉え、現状や課題、展望について理解を深める。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 現代社会におけるこども家庭福祉の理念とその概念 第2回 こども家庭福祉の歴史と現代社会における課題 第3回 こどもの人権擁護の歴史と現代社会における課題 第4回 児童の権利に関する条約とその内実 第5回 こども家庭福祉に関する制度と法体系及びその実施体系 第6回 児童福祉施設と専門職としてのこども家庭支援 第7回 少子化現象と地域における子育て支援 第8回 母子保健とこどもの健全育成の現状と課題 第9回 多様な保育ニーズへの対応とその功罪 第10回 こども虐待・DVへの対応とその防止 第11回 社会的養護における障がいのあるこども、外国籍のこども及びその家庭への対応 第12回 社会的養護における少年非行、貧困家庭への対応 第13回 次世代育成支援とこども家庭福祉の推進とその内実 第14回 地域における連携・協働とそのネットワークづくり 第15回 諸外国におけるこども家庭福祉の動向</p> <p>■準備学習</p> <p>前回授業で与えられた資料及び教科書の関連ページを復習し、授業内容の理解を深めた上で、次回の授業に出席すること。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 期末試験 — 70% 授業への参加状況（討議への積極的な取り組み、発言内容） — 30% 							
参考文献	特になし。			特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 レポート等に対するコメントを行う。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修			幼保	保育の本質・目的に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容							